

平成28年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	総務部 危機管理室
危機管理監名	羽間 紀雄
理事名	中江 理晶（危機管理担当）

【基本姿勢】

近年の大震災や異常気象による風水害等の災害の発生により、各地でこれまでの想定を超える被害が発生しており、防災・減災対策に関する事業や取組の拡充が喫緊の課題となっています。

防災・減災対策にあたっては、継続して市民の防災意識の醸成に取り組みながら、自主的な防災活動に対する支援や充実を図る必要があります。また、関係機関、市民及び事業所と相互に連携・協力し、地域の防災力・減災力の向上を図るため災害時や災害発生時に備えた応援協定などによる連協強化に取り組めます。

市防災行政無線などのハード面の整備については、技術革新に注視しつつ、設備の老朽化や適正配置の検証とともに、より充実した防災情報を市民に提供できるよう防災体制を整備していきます。

防犯対策としては、女性・子ども・高齢者が安心して暮らせるまちの実現を目指し、地域防犯活動を支援するなど防犯体制を強化することで、市民の防犯意識の高揚や活動の活性化を図ります。また、公共施設等への防犯カメラの設置などハード面の整備を進め、地域の見守りの目を増やし、市全域の防犯環境を整えることで、さらなる防犯力の向上に努めます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成28年度 達成状況
1	災害情報伝達手段の強化	A
2	災害対応力の強化	A
3	防災力・減災力の向上	A
4	防犯力の向上	A

部(局)名	総務部 危機管理室
-------	-----------

重点課題 1 災害情報伝達手段の強化

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向
(中期的な目標)
災害に備えて市民への情報伝達手段の向上を進めます。

活動目標

市防災行政無線の屋外拡声器の増設を進めます。

防災訓練実施など、機会をとらえて市民の防災意識の醸成に努めます。

具体的な取組実績

屋外拡声器を4局増設しました。

吹田市自治会連合協議会との合同防災訓練時に市と地域災害対策本部との情報伝達訓練を実施しました。

達成目標

屋外拡声器の増設や訓練等での防災システムの活用を図ることで、災害対応力の向上を図ります。

達成状況	達成度
水害の危険性の高い南部地域に屋外拡声器4局の増設を完了し、当該地域での防災情報の可聴範囲を広げることができました。	A 達成

総合評価・総括

平成27年度から水害の危険性の高い南部地域及び土砂災害の危険性が高い中部地域を中心に、平成30年度までの4年間で16局の市防災行政無線の屋外拡声器の増設を図り、より迅速かつ的確に防災情報を市民に伝えることができる環境を整えます。また、防災訓練等を通じて、災害情報の伝達についての検証を進めます。

部(局)名	総務部 危機管理室
-------	-----------

重点課題 2	災害対応力の強化
--------	----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大規模災害発生時の対応力の強化及び民間企業や大学等の受援体制の充実に努めます。
---------------------	---

活動目標
災害時の応急対策の円滑化をさらに進めます。
大学のあるまちを活かした防災体制を検討します。
吹田市地域防災計画を改訂し、災害発生時の対応強化を図ります。

具体的な取組実績
平成28年9月、吹田市地域防災総合訓練を千里北公園で実施し、災害時応援協定団体や事業者、市民との連携強化に努めました。
本市と学校法人西大和学園大和大学が相互に協力して、災害に対する予防及び災害発生時における応急対策を行うことで、災害に強いまちづくりの推進に寄与することを目的とする協定を締結しました。
庁内全部局及び協定団体と協議を重ね、改訂を行いました。

達成目標
災害発生時に備えて民間企業や大学等との災害時応援協定の締結を進めます。
昨今の自然災害に対応した吹田市地域防災計画の改訂を進めます。

達成状況	達成度
平成28年度は、5つの民間企業や大学と災害時応援協定を締結しました。	A 達成
庁内全部局及び協定団体と協議を重ねるとともに、防災訓練で協議事項の検証を行い、より実践的な計画に改訂しました。	A 達成

総合評価・総括
民間企業や大学との協定締結及び吹田市地域防災計画改訂作業を通じて、庁内外での協議や検証訓練(図上)を重ねた結果、災害対応に必要な連携を深めることができました。今後は大規模災害発生時の対応力のさらなる強化のために、具体的な動きの訓練などで計画の継続的なブラッシュアップをはかる必要があります。

部(局)名	総務部 危機管理室
-------	-----------

重点課題 3	防災力・減災力の向上
--------	------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民一人ひとりの防災・減災意識の向上を図ります。
---------------------	--------------------------

活動目標
自主防災組織の結成促進や地域防災リーダーの育成及び能力向上に努めます。
児童防災講座や訓練を実施します。

具体的な取組実績
<p>連合自治会単位で自主防災組織が未結成の地域に向けて結成促進を行いました。また、防災講座等の機会をとらえて単一自治会、マンション管理組合等に自主防災組織の結成促進を行いました。</p> <p>平成29年2月に5回目となる地域防災リーダー育成講習を開催しました。</p>
<p>「やってみる」をキーワードに、実践を多く取り入れた防災出前講座を行い、子供たちの防災意識の向上に努めました。</p>

達成目標
防災講座の充実に努め、自主防災組織の結成支援として救助用資機材の配備を進めます。
地域防災リーダー育成講習や研修を開催するとともに、リーダーの活躍の場となる自主防災組織の結成促進に努めます。
未来を担う子どもたちの防災・減災意識の向上を図ります。

達成状況	達成度
<p>防災講座は、62回実施し、自らが考え災害対応にあたる図上訓練の避難所運営ゲーム(HUG)については、8回実施しました。</p> <p>また、自主防災組織の結成支援として平成28年度は7組織に救助用資機材の給付を行いました。</p>	A 達成
<p>地域防災リーダー育成講習を開催するほか、防災リーダーへのフォローアップ及びレベルアップ研修会を3回実施しました。</p> <p>また、地域防災リーダーが継続して活躍する場となる、自主防災組織の結成促進を行い、連合自治会単位で1組織、単一自治会単位で7組織が結成されました。</p>	A 達成
<p>ダンボールベッドの組立や初期救助用資機材を使用した救出訓練を実践することで、「やってみる」から「自分たちは何ができる」と具体的なイメージを持つよう防災意識の向上を図りました。</p> <p>また、中学生による防災の取り組みを大学生に紹介するなど、防災資源となる学生等の連携を図りました。</p>	A 達成

総合評価・総括
<p>今年度は4月に熊本地震、10月にも鳥取地震が発災し、市民の防災に対する関心の高まりもあり、講座及び地域防災訓練等への参加者が増加しており、防災意識の向上がうかがえます。</p> <p>平成28年度は新たな取り組みとして、北部防災備蓄拠点である市立吹田サッカースタジアムにおいて防災講座を行うほか、非常食に対する基本知識と活用方法を学ぶことを目的とした防災クッキングを行い、市民一人ひとりの防災意識の向上を図りました。今後も、このような取り組みを継続し、市民一人ひとりの意識向上から地域防災力の向上に繋げていく必要があります。</p>

部(局)名	総務部 危機管理室
-------	-----------

重点課題 4	防犯力の向上
--------	--------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	犯罪を許さない気運の醸成、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図ります。
---------------------	------------------------------------

活動目標
吹田警察署と連携し、防犯講座を実施するなど積極的に地域の防犯活動の活性化に寄与する取り組みを進めます。
市、警察、防犯ボランティアとの連携を図り、防犯体制の強化を図ります。
公共施設等への防犯カメラの設置、公用車へのドライブレコーダーの設置を進めます。

具体的な取組実績
吹田警察署と連携し、防犯講座（年15回482名受講）や防犯強化月間（年3回4月、10月、12月）時の取り組み、児童防犯講座（年9回366名受講）を実施しました。
地域青色防犯パトロール団体の活動支援や吹田防犯協議会への活動支援、青色防犯パトロール隊の士気及び市民の防犯意識を高めるため、吹田まつり（7月）のパレードへの参加などを行いました。
公共施設等への防犯カメラは、第1期として各小学校区15台ずつ12小学校区と江坂駅周辺地区に合計186台設置しました。また、ドライブレコーダーは36台の公用車に設置しました。

達成目標
市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図り、防犯ボランティアの結成や犯罪発生件数の更なる減少を目指します。
市・警察・地域とそれぞれの役割を確認しながら、市の防犯体制の強化や地域に対し必要な支援を実施します。
地域の見守りの目を増やし、地域の防犯活動を支援するとともに、防犯力を向上させます。

達成状況	達成度
新たに地域青色防犯パトロール隊1隊の結成と地域防犯パトロール隊員として25名増えました。平成28年中の犯罪認知件数は前年に比べ130件減少の3,309件となりました。街頭犯罪としては、前年度に比べ50件減少の1,733件と毎年減少傾向にあります。	A 達成
安心安全の都市（まち）づくり講習会や児童防犯講座等の啓発活動を行うとともに、吹田警察署や吹田市消防本部と連携し、安まちメール等の防犯情報を活用した市青色防犯パトロールを実施しました。また、地域の防犯活動を支援するために、地域青色防犯パトロール活動や防犯ボランティアに対する支援などを通じて、地域の防犯体制の強化に努めました。	A 達成
吹田警察署、吹田防犯協会、地域の方々との連携に加えて、公共施設等への防犯カメラの設置と公用車へのドライブレコーダーの設置により地域の見守りの目を増やし防犯力を向上させました。	A 達成

総合評価・総括

平成28年度末現在で、危機管理室に登録されている地域防犯パトロール組織として34団体1,145名、地域青色防犯パトロール隊として11団体33台をはじめ、各地域の防犯活動団体（自治会、青少年指導委員会、PTAなど）による地域防犯活動を実施いただいています。

こういった地域の日々の防犯活動の積み重ねが、全ての市民が安心して安全に暮らすことができる防犯環境づくりにつながっていることから、引き続き地域活動支援や啓発など防犯意識の醸成に取り組めます。

また、犯罪認知件数としては減少傾向にありますが、子ども・女性などに対する声かけや性犯罪等重大事件につながるような事案が後を絶たないことから、防犯カメラ及びドライブレコーダーの設置をはじめ、早急に地域の見守りの目を増やし、市全域の防犯力を向上させるような施策を進めていく必要があります。